

横浜市磯子区生活支援センター 平成24年度事業報告書

平成18年11月に開所した当生活支援センターは、6年目を迎えました。23年度から、自立生活アシスタント事業と地域移行・地域定着支援事業を受託し、生活支援センターの利用が困難な当事者に対しても、支援を広めています。

今年度も、更に「積極的に関わりを持つ生活支援センター」となるべく、以下の事業を展開し、地域の精神保健福祉の充実を図りました。

【施設の方針】

磯子区生活支援センターは、日常生活の支援を通し、一人ひとりが「あんしん」や「つながり」を実感できるような地域づくりを目指します。

【平成24年度の重点事業】

磯子区生活支援センターは、次の2点に重きを置き、事業を実施しました。

1 相談支援事業の充実

(1) 来館している当事者に対して

継続的な来館者については、フロアでの日常会話に留まらず、いざという時のための「あんしん」や、平時からの「つながり」を感じてもらえるよう定期的な面接を行いました。

(2) 来館が困難な当事者に対して

来館が困難な当事者に対しては、これまでも訪問支援を行ってきましたが、家族会会員やその家族（当事者）を中心にさらに多くの方との「つながり」を実現するよう積極的に訪問支援を進めました。

2 うつ病に関する事業を継続

依然として、統合失調症に次いで、うつ病に関する相談が多く寄せられていることから、引き続き、うつ病に関する事業を開催しました。

(1) うつ病 「当事者交流会」

うつ病を抱える当事者が集まり、「日々の思いを語り合える場」「情報交換が出来る場」として毎月、開催しました。

(2) うつ病 「家族交流会」

うつ病を抱える当事者のご家族が「自分の気持ちを語れる場」「思いを共有できる場」「情報交換が出来る場」として毎月、開催しました。

【事業の実施状況】

利用者登録状況

(平成25年3月末現在)

登録者数	1,019人
男女別内訳	男性 565人 女性 454人
居住区	磯子区 446人・金沢区 155人・南区 93人・港南区 87人 中区 56人・その他市内 151人・市外 31人
年代別	29歳以下 90人・30歳代 232人・40歳代 375人 50歳代 187人・60歳以上 135人
平均年齢	男性 45.6歳 女性 44.5歳 全体 45.1歳

1 相談支援

住みなれた地域で日々安心して自分らしい生活が送れるよう、当事者をはじめ、ご家族、関係機関スタッフ等の相談に対応しました。継続した支援が必要なケースについては、個別の支援計画を作成し、支援方針を共有しました。また、必要に応じて、区福祉保健センターや医療機関等の関係機関との連携を図りました。

(1) 電話相談

受付時間 9時から21時まで

(平成25年3月末現在)

電話相談	11,784件	(1日平均 33.4件)
------	---------	--------------

(2) 面接相談

受付時間 9時から21時まで

(平成25年3月末現在)

面接相談	3,247件	
・面接室相談	1,009件	(1日平均 2.9件)
・生活場面相談	2,238件	(1日平均 6.3件)

(3) 訪問・同行

来館が困難な利用者には自宅を訪問したり、受診同行が必要な利用者に対して、医療機関に同行する等、必要に応じて訪問・同行支援を行いました。

(平成25年3月末現在)

訪問・同行	140件	(1ヶ月平均 11.7件)
-------	------	---------------

(4) 嘱託医相談

精神科 月3回

内科 月1回

(平成25年3月末現在)

実施回数	48回	
相談者数	44人	(男性12人・女性20人・家族等12人)

2 場の提供

利用者に「過ごす場」を提供するとともに「各種のプログラム」や「サークル活動の場」を提供しました。いずれも活動を通じて、「何かに取り組むことの楽しさ」や「利用者同士の交流の場」を提供することを主目的としました。

(1) 過ごす場の提供

開館時間 9時から21時まで

(平成25年3月末現在)

居場所提供（来館者）	11,292人	（1日平均 32.0人）
------------	---------	--------------

(2) 各種プログラムおよびサークル活動

誰でも気軽に参加することができ、ボランティアとの交流の場も提供しました。また、利用者の希望に応じ、新たな活動も展開しました。

(平成25年3月末現在)

プログラム・サークル名	目的・内容	回数	参加人数
統合失調症の 「当事者学習会」	統合失調症を抱える当事者の学習の場や交流の場	4	28
うつ病の 「当事者交流会」	うつ病を抱える当事者の学習の場や交流の場	12	53
利用者ミーティング	センターや日々の生活に関する意見交換・情報交換の場	12	85
運営報告会	利用者に対し、施設の運営状況を報告する場	2	30
カフェ	コーヒー・麦茶を飲みながら利用者同士で会話を楽しむ	52	618
昼食会	参加者で調理をしたり、皆で食事を摂る楽しみを味わう	12	126
書道教室	書を通じて、何かに取り組むことの楽しさを味わう	12	29
就労者の会	就労中の当事者の交流の場・支え合いの場	11	37
アートしま専科	時に利用者が講師を担い、手芸などの創作活動を行う	12	59
女子会	女性限定の友人作りの場	11	44
歌声広場	ギターやピアノの伴奏のもと、皆で合唱をする場	12	55
季節行事	花見やクリスマス会などを開催し、季節感を味わう	5	23
地域行事	地域の行事に利用者と参加する（夏祭り、例大祭）	2	14

(3) 当事者活動

利用者に「ピア活動を紹介する」と共に利用者の主体性を尊重した「ピア活動の実践」に取り組みました。

また、ピア活動に関して、より一層、職員の理解を深めるため、勉強会への参加や他施設見学等を行いました。

(平成25年3月末現在)

かたつむりの会	隔週金曜日	夜間開催	24回開催	108人参加
---------	-------	------	-------	--------

3 各種サービスの提供

利用者が生き生きと地域生活を送ることができるように、各種のサービスを提供しました。

(1) 夕食サービス

1回 400円程度

申込受付 前日から当日の15時まで

(平成25年3月末現在)

夕食サービス利用者	6,537人	(1日平均 18.5人)
-----------	--------	--------------

(2) 入浴サービス

1回 100円

(平成25年3月末現在)

入浴サービス利用者	1,644人	(1日平均 4.7人)
-----------	--------	-------------

(3) ランドリーサービス (洗濯機と乾燥機の利用)

1回 100円 (両方の使用で100円)

(平成25年3月末現在)

ランドリー利用サービス利用者	315人	(1日平均 0.9人)
----------------	------	-------------

(4) インターネット・印刷サービス

10分10円 ・ 1枚10円

(平成25年3月末現在)

インターネットサービス利用者	698人	(1日平均 2.0人)
----------------	------	-------------

4 家族支援

当センターでは、家族同居の利用者が多いことも反映し、当事者だけでなくご家族からの相談も多いため、通年でご家族に対する支援を行いました。

(平成25年3月末現在)

事業名	目的・内容	回数	参加人数
統合失調症の「家族教室」	統合失調症の当事者を家族に持つ方の学びの場・交流の場 (区役所、家族会、支援センター3者共催)	4	95
うつ病の「家族交流会」	うつ病の当事者を家族に持つ方の語りの場・交流の場	12	79

※また、なぎさ会(家族会)の例会や総会に職員が参加し、ご家族の意見をお伺いすると共に情報交換を行いました。

5 広報・啓発活動

地域の方々に精神障害に関する理解を広めるとともに、当センターの機能や事業内容を周知し、利用促進を図りました。

(1) 地域ケアプラザとの連携

区内の各地域ケアプラザにおいて講演会等を行い、精神障害に関する理解を広めるとともに生活支援センターの機能の周知を図りました。

(平成25年3月末現在)

ケアプラザ名	開催日	講座テーマ	参加人数
上笹下CP	6月27日	統合失調症について	11
	10月5日	うつ病について	12
	1月30日	強迫性障害について	16
根岸CP	9月26日	強迫性障害について	15
	11月29日	精神障害について	8
屏風ヶ浦CP	10月22日	精神障害について	4
滝頭CP	1月17日	精神障害の資源について	21
合 計			87

※根岸ケアプラザでは、隔月で「心の健康相談室」を開催し、地域の方々の相談に対応しました。

(2) 「6周年記念イベント」

屏風ヶ浦地域ケアプラザと共催の記念イベントを行い、精神障害に関する理解を広めるとともに生活支援センターの機能の周知を図りました。

9月30日(日) 10時～15時 約400人来館
(屏風ヶ浦地域ケアプラザ文化祭と同一日開催)

(3) 「生活支援センターだより」

「生活支援センターだより」を毎月発行し、市内の関係機関(医療機関・作業所・グループホームなど)に配布しました。また、ホームページ上でも閲覧できるようにしました。

毎月 発行

(4) 広報紙「うえるかむ」

広報紙を発行し、地区センターや地域ケアプラザなど、区内の施設に設置するほか、区内全域の回覧版を活用し、当センターの周知に努めました。

今回は、「うつ病」に関する記事を載せたところ、施設の利用に至る当事者や家族もいました。

11 月 磯子区内全自治会町内会に班回覧を実施

6 新規2事業の展開

23年度から受託した新規事業について、より一層の充実を図りました。

(1) 地域移行・地域定着支援事業

精神科病院に入院している方に対して、入院が長期化しないように病院を訪問し、退院に向けた支援を行いました。また、退院後も安心して地域での生活を送ることができ、再び入院することがないように保健・医療・福祉が連携して必要な福祉サービスが受けられるよう支援をしました。

(平成25年3月末現在)

支援対象者	7名 (支援中5名・退院後フォロー中1名・退院後フォロー終了者1名)
支援件数	522件(電話、面接、訪問、同行等)
啓発活動	日野病院院内プログラム職員参加(毎月) 日野病院家族会事業説明(19人参加) 横浜相原病院職員事業説明(2回開催 延86人参加) 福井記念病院職員当事者事業説明(25人参加)

(2) 自立生活アシスタント事業

単身等で生活する精神障害者が安定した生活を送れるよう、訪問による生活支援や家族・近隣・職場等との連絡調整を行いました。また、地域生活を支えるために、地域の資源やサービスの実施機関等と連携して支援体制を作りました。

(平成25年3月末現在)

支援対象者	17名 (新規登録者7名・終了者4名)
支援件数	788件(電話、面接、訪問、同行等)
啓発活動	市内グループホーム職員向け研修(30人参加)

7 地域連携・交流の推進

当事者が地域でより暮らしやすい社会にするため、日常的に地域の関係機関・団体や住民の方などとの連携や交流を推進するとともに地域に開かれた生活支援センターづくりを進めました。

(1) 運営連絡会の開催

生活支援センターの運営について種々ご意見をいただき、生活支援センターの運営に反映させて行く場として、運営連絡会を開催しました。

5月・11月 開催

(2) 関係機関との連携

区自立支援協議会等、関係機関との連絡会議に積極的に参加し、地域課題の把握や情報の共有化を図りました。

区自立支援協議会

区内施設の運営委員会（シャロームの家、工房タッチ、楷の木、いぶき、屏風ヶ浦 CP）

連絡会（区精神保健福祉連絡会、さつき寮、発達障害児者ネットワーク連絡会）など

8 事故対策・安全管理

(1) 事故の発生を未然に防ぐため、日頃から安全管理意識を高め、事故等の緊急時には、整備している「安全管理マニュアル」に基づき、迅速かつ的確な対応を目指しました。

(2) 屏風ヶ浦地域ケアプラザと共同で防災訓練を年2回程度、実施しました。

(3) 横浜市との協定に基づき非常災害時の地域の避難拠点として、備蓄品の点検を実施しました。

防災訓練（屏風ヶ浦地域ケアプラザと合同）

9・11月実施

9 個人情報管理

個人情報の保護とリスクマネジメントの徹底により利用者に信頼と安心を提供しました。当財団においては、「財団の保有する個人情報の保護に関する規定」を制定し、個人情報の適切な取り扱いに関し、必要な事項を定めるとともに、個人の権利・利益を保護するため、定期的に職員研修を行っています。

なお、登録者台帳等、個人情報があるパソコン、メモリースティック、書類等は、業務終了時に書庫内に収納し、施錠しています。

10 人材育成・資質向上

生活支援センター職員は、常に精神等に障害のある人たちが置かれている現状に問題意識を持ち、研修にも積極的に参加し、資質の向上に努めてました。

また、日々の職員会議や月1回の職員全体会議において、利用者の状況を常に把握し、必要に応じ、ケースカンファレンスの開催や個別支援計画の作成を行いました。

11 苦情の解決

生活支援センターは、その提供したサービスに関するご利用者又はご家族等からの苦情については苦情受付の窓口を設置し、迅速で適切な解決を図ります。

また、利用者ミーティングの開催やフリースペースに設置している意見箱等を通じて、利用者からの意見に耳を傾けて、センターの運営に反映させました。

12 その他

(1) 来館が遠のいている人への声かけ

毎月の所内会議において「来館が遠のいている区民の登録者」を抽出し、電話で近況を確認しています。

スタッフから連絡した登録者	373人
----------------------	-------------

(2) 来館者の身近な支援者として、気軽に声を掛けられる関係作りを心がけました。

「一声運動」として職員がフロアに出て来館者に声掛けを行いました。

また、フロアに麦茶コーナーとしてカウンターバーを設け、それを媒体として、職員に気軽に声かけができるようにしました。カウンターバーは、職員・ボランティアと利用者とのコミュニケーションの場として大いに利用されています。

バーカウンターでのコミュニケーション実績	2,299人
-----------------------------	---------------

横浜市磯子区精神障害者生活支援センター 平成24年度 利用状況及び支援内容

(1) 利用状況及び支援内容

(人)

(日)

全体	内訳					
	本人(男性)	本人(女性)	家族	ボランティア等	電話	訪問同行
23,880	6,898	4,394	413	251	11,784	140

開所日数
353

(2) 相談支援

ア 相談支援

(人)

合計	電話		面接		訪問・同行		面接(非構造)	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
15,171	5,704	6,080	566	443	75	65	1,387	851
1日平均	33.4		2.9		0.4		6.3	

イ 嘱託医相談

(人)

嘱託医相談(精神科・内科)				
実施回数	合計	男性	女性	家族等
48回	44	12	20	12

(3) 生活支援

(人)

食事サービス			入浴サービス			洗濯サービス		
合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
6,537	4,758	1,779	1,644	864	780	315	179	136
1日平均	18.5		1日平均	4.7		1日平均	0.9	

(人)

インターネットサービス		
合計	男性	女性
698	269	429
1日平均	2.0	

(4) 利用登録内訳

ア 男女別・年齢別

(人)

(歳)

	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～	合計
男性	2	44	112	221	114	72	565
女性	2	42	120	154	73	63	454
合計	4	86	232	375	187	135	1,019

最高	最低	平均
86	15	45.6
82	19	44.5
86	15	45.1

イ 区別内訳

(人)

鶴 見	神 奈 川	西	中	南	港 南	保土ヶ谷	旭	磯 子	金 沢
7	16	3	56	93	87	19	13	446	155
港 北	緑	青 葉	都 筑	戸 塚	栄	泉	瀬 谷	市 外	合 計
10	11	4	4	26	18	12	8	31	1,019

(5) 自主企画事業

スタッフが企画をしているプログラム以外に利用者と一緒に作り上げていくプログラムや、利用者が中心になって企画運営を行うサークル活動等を実施しています。

(人)

名 称		回数	参加人数
プログラム・行事	統合失調症の「当事者学習会」	4	28
	うつ病の「当事者交流会」	12	53
	利用者ミーティング	12	85
	利用者向け「運営報告会」	2	30
	カフェ	52	618
	昼食会	12	126
	書道教室	12	29
	就労者の会	11	37
	季節行事（初詣、お花見、夏祭り、年賀状づくり等）	2	30
	感謝祭 飾り付け準備	2	6
	6周年記念「感謝祭」（屏風ヶ浦地域ケアプラザと合同）	1	400
	磯子七福神の学習会	2	10
サークル	歌声広場	12	55
	アートしま専科	12	59
	女子会	11	44
	かたつむりの会（当事者ミーティング）	24	108
その他	運営連絡会	2	44
	防災訓練（屏風ヶ浦地域ケアプラザと合同）	2	22
合 計		187	1,784

(6) 地域交流

地域の関係機関、団体との連携や交流をしています。

(人)

名 称	派遣職員延数
根岸地域ケアプラザでの相談会	6
区主催 精神保健講座の応援	5
ボランティア講座（区社協との共催）	11
区内施設の運営委員会、連絡会	16
講師派遣（地区センター職員研修、ケアマネ研修）	2
その他、地域との交流（賀詞交換会、自治会など）	5
合 計	45

(7) 地域会議等

地域の会議に参加し、課題の把握や情報の共有を行っています。

(人)

名 称	派遣職員延数
磯子区自立支援協議会	6
なぎさ会（家族会）	11
南部地域若者連絡会	4
その他（発達障害連絡会、ボランティア会など）	3
合 計	24

(8) 家族支援及び地域支援事業

統合失調症の方のご家族、うつ状態の方の家族への支援及び地域住民への普及啓発を行っています。地域住民向けの普及啓発では、地域ケアプラザの協力を得て開催することができました。

(人)

名 称	回数	参加人数
統合失調症の「家族教室」（区役所・家族会との共催）	4	95
うつ病の「家族交流会」	12	79
ボランティア講座（区社協との共催）	3	57
地域ケアプラザとの共催講座（うつ病・統合失調症・強迫性障害・精神障害）	7	87
合 計	26	318

(9) 普及啓発

毎月発行している「センターだより」とは別に、広報紙「うえるかむ」を地元町内会、区内地域ケアプラザ、地区センター等へ配布し、地域住民への普及啓発に取り組んでいます。

(10) 地域移行・地域定着支援事業

平成23年度から新規事業として実施しています。

◎個別支援

平成24年度は、7人に支援を行いました。

支援対象者数	病 名	帰 結	退院後の帰来先
7人	・統合失調症 5人 ・その他 2人	・退院 2人 ・支援継続 5人 ・支援終了 0人	・生活訓練施設 1人 ・グループホーム 1人

◎啓発事業

下記の各病院にて事業説明等の啓発事業を行いました。

対象病院	対象者	内容	実施機関	参加人数
日野病院	職員、家族、当事者	事業説明	磯子区生活支援センター	19人
横浜相原病院	職員	事業説明	地域移行事業南部ブロック (港南区、保土ヶ谷区、栄区、磯子区生活支援センター)	2回実施 延参加人数 86人
福井記念病院	職員、横浜시에住所がある入院者	社会資源の紹介 事業説明	港北区、栄区、磯子区生活支援センター	25人

◎生活訓練係、港南区の関係機関と協働し、日野病院で当事者を対象とした啓発活動を行いました。

日野病院	入院者、職員	社会資源の紹介 事業説明	ハイツかもめ、港南区・磯子区生活支援センター、かるがもの家、日野病院	36人
------	--------	-----------------	------------------------------------	-----

☆日野病院との協働活動

日野病院との協働活動として、退院を目標とした院内プログラムに支援センター職員が参加し、制度や社会資源の紹介等を行いました。

対象者	プログラムの目的	実施回数	平均参加人数
日野病院 長期療養病棟入院者	退院の動機づけを目指す	11回	10人(延参加人数 107人 うち1名退院)

社会資源の紹介、見学、生活スキルの獲得を目指した内容

対象者	プログラムの目的	実施回数	平均参加人数
日野病院 入院者	退院を目指す	10回	5人(延参加人数 48人 うち2名退院)

社会資源、制度の紹介、説明

(11) 横浜市障害者自立生活アシスタント事業

単身等で生活する方を対象に、アウトリーチ（訪問）によるマンツーマンの生活支援を展開しました。施設の専門性を活かし、利用者の障害特性を踏まえた社会適応力・生活力を高めるための支援を展開しました。「自分にあった片づけ方を知り、生活空間を居心地よくしたい」「金銭管理の仕方を工夫したい」などの個別のニーズに柔軟に対応しながら、地域のサービスへの橋渡し、支援ネットワーク作りなどを行いました。本人の強み（長所）を活かし、本人にとってより自分らしい生活を目指しています。

平成24年度 自立生活アシスタント事業 利用者の状況



本表は24年度中における登録、利用、終了の状況を示したものである。したがって利用者及び終了者は24年度中の登録者とは限らない。

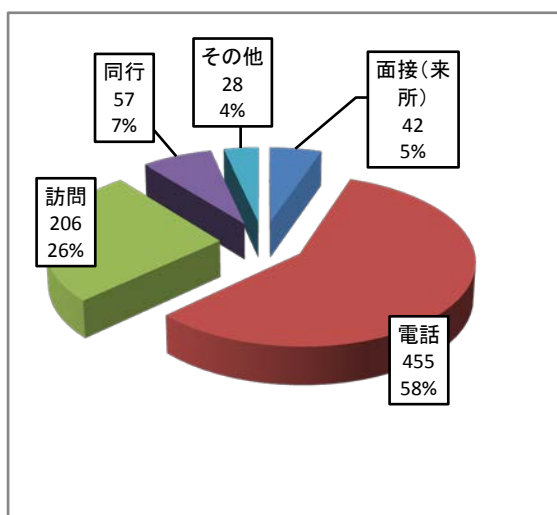
24年度利用者の状況、支援方法・内容

＜世代別・男女別＞						
	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	1	1	1	1	1	5
女性	0	2	6	2	2	12
計	1	3	7	3	3	17

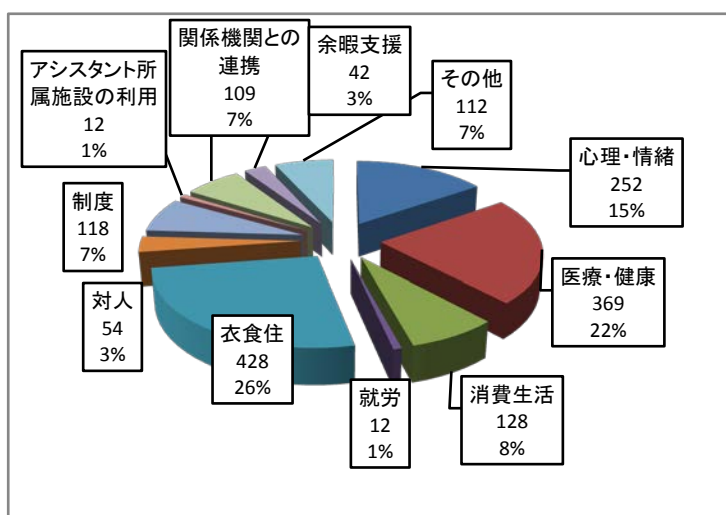
＜利用目的＞					
①自立生活 (②以外)	②自立生活 (同居家族の 高齢化・死亡)	③退所後の 生活安定	④退院後の 生活安定	⑤その他	合計
11	0	1	5	0	17

＜世帯状況＞		
家族同居	単身	合計
3	14	17

支援方法(788件)



支援内容(1,636件)



平成24年度横浜市精神障害者生活支援センター精算内訳

施設名：横浜市磯子区精神障害者生活支援センター

運営法人: 公益財団法人横浜市総合保健医療財団

【支 出】

科 目		当初予算額				執行額				差引増△減			
		計	生活支援センター運営	地域移行・地域定着	自立生活アシスタント	計	生活支援センター運営	地域移行・地域定着	自立生活アシスタント	計	生活支援センター運営	地域移行・地域定着	自立生活アシスタント
人件費		56,225,000	37,672,000	6,184,000	12,369,000	60,062,843	40,242,105	6,606,913	13,213,825	△ 3,837,843	2,570,105	422,913	844,825
	所長	3,743,000				4,089,580				△ 346,580			
	常勤職員	26,449,000				28,994,135				△ 2,545,135			
	非常勤職員	12,349,000				13,672,048				△ 1,323,048			
	アルバイト	2,350,000				1,025,580				1,324,420			
	調理アルバイト	2,406,000				2,428,848				△ 22,848			
	嘱託医賃金	1,008,000				252,000				756,000			
	法定福利費	6,028,000				7,222,948				△ 1,194,948			
	退職給付引当資産取得	1,700,000				2,224,625				△ 524,625			
	福利厚生費	54,000				60,000				△ 6,000			
	労務厚生費	138,000				93,079				44,921			
施設管理費		4,530,000	3,714,000	453,000	363,000	4,554,446	3,734,646	455,445	364,355	△ 24,446	20,646	2,445	1,355
	光熱水費	1,634,000				2,002,016				△ 368,016			
	庁舎管理	2,698,000				2,748,330				△ 50,330			
	修繕積立金	300,000				0				300,000			
	入浴サービス等実費徴収額	△ 102,000				△ 195,900				93,900			
運営費		3,610,000	2,959,000	362,000	289,000	3,320,551	2,722,852	332,055	265,644	289,449	△ 236,148	△ 29,945	△ 23,356
	旅 費	415,000				353,170				61,830			
	消耗品費	916,000				1,100,266				△ 184,266			
	印刷製本費	126,000				136,114				△ 10,114			
	修繕費	300,000				36,225				263,775			
	通信運搬費	538,000				681,394				△ 143,394			
	賃借料	401,000				439,136				△ 38,136			
	備品等購入費	383,000				202,440				180,560			
	保険料	110,000				101,880				8,120			
	雑費	421,000				269,926				151,074			
本部繰入金		0								0			
合 計		64,365,000	44,345,000	6,999,000	13,021,000	67,937,840	46,699,603	7,394,413	13,843,824	△ 3,572,840	2,354,603	395,413	822,824